

黒岩知事との“対話の広場” Live神奈川 発表資料

平成30年11月6日(火)

日本理化学工業株式会社
大山隆久

会社概要

会社設立 昭和12年2月(東京大田区)

資本金 2000万円

従業員 86名(うち知的障害者64名)重度26名

※雇用のスタートは昭和35年より(来年で60年)

事業内容 チョーク／キットパス製造販売
プラスチック成形加工

工場 川崎工場(神奈川)／美唄工場(北海道)

《主力商品①》 ダストレスチョーク

☆80年のロングセラー

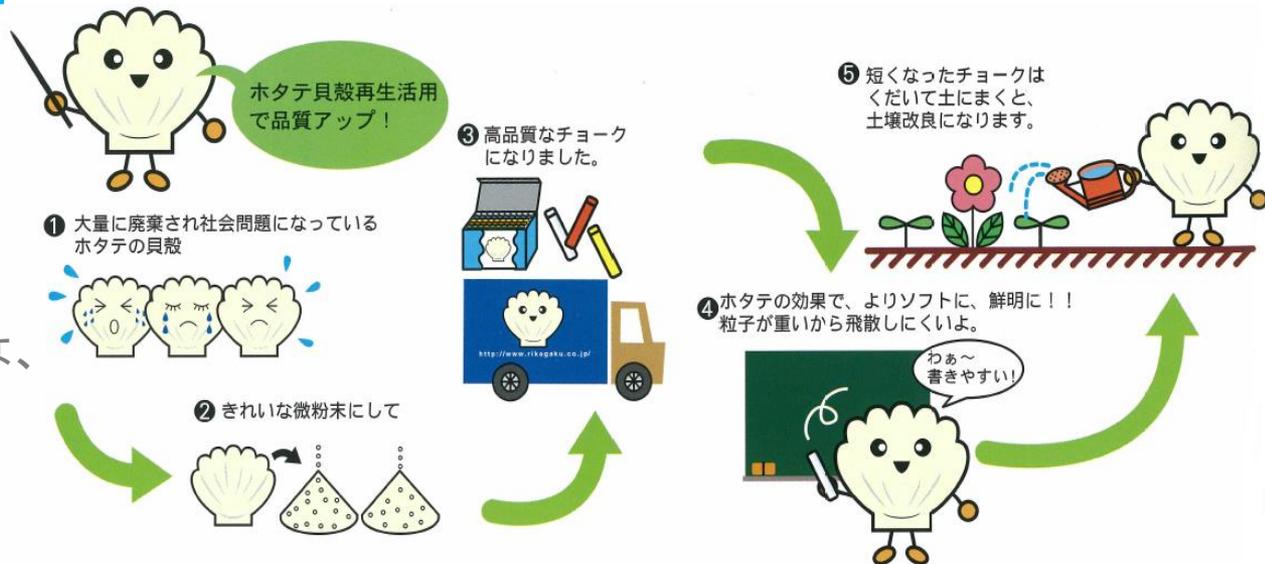
2005年から、ホタテ貝殻のリサイクル活用で品質アップ！



ホタテ貝殻微粉末により、ソフトで鮮明。
粉が舞いにくい！

石膏チョークに比べ、
2倍以上長持ち。
経済的！

主原料の炭酸カルシウムは、
歯磨きにも使われている。
安心・安全！



《主力商品②》 kitpas

☆アイデア広がる新商品

お店、オフィス、学校、etc…
使い方はいろいろ！
すべての世代で楽書き文化を！

ガラスや鏡などに書けば、
濡れた布で簡単に消せる！

消しカスが出ないので、
飲食店にも最適！

主原料のパラフィン
化粧品にも使われ、
子どもにも誰でも安全！



経営理念(ミッション)

当社は、人と人をつなぐために私たちの商品、仕事の質、そして、私たち自身の人間性をつねに高め続けます。

また、全従業員がつねに「相手の理解力に合わせる」という姿勢を大事にし、素直な心でお互いを受入れ、理解・納得をしながら成長していくことで、物心両面の働く幸せ(役に立つ幸せ)の実現を追求していきます。

そして、徹底的に障がい者雇用にこだわり、よりよい皆働社会の実現に貢献していきます。

やっていること

①相手の理解力にあわせて段取りすること、教えること

例えば、字の読み書きが苦手だったり数字の理解が難しくても、その苦手を超えていけることを考えられればいい

簡単にあきらめてはいけない(伝え方はある)

②ボランティア企業ではなく、利益を生み続けていかなければ継続できない一般企業である

誰も守ってくれることはない

だから、必死に戦力へ、成長できる企業へ

雇用からの気づき

- 相手の理解力に合わせて段取る、教える

色付きバケツとはかり（色分けによる材料計量）



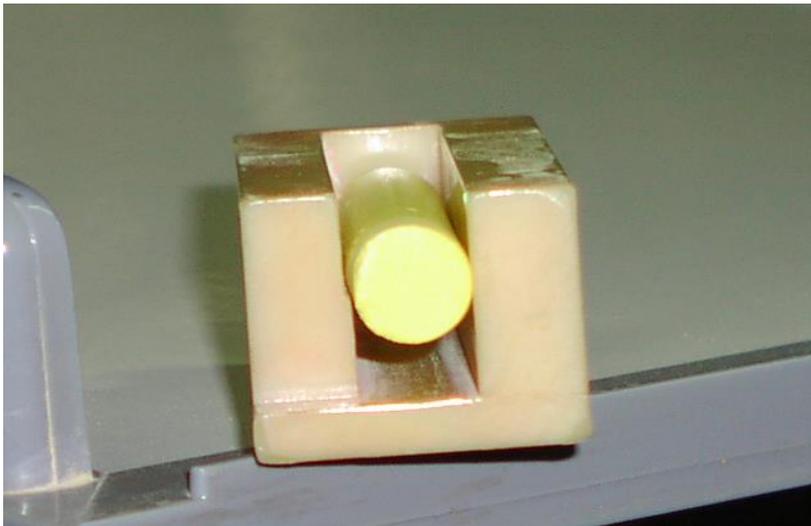
雇用からの気づき

- ハード面の工夫(配慮)

測定ケース(規格内のサイズ確認) / 砂時計(時間の確認)

⇒できない、難しいことを超える工夫はないか

(彼らにとってわかりやすいことは、皆にとってわかりやすいこと) ⇒ユニバーサルデザイン



知的障がいをもった社員の特長(私見)

長所

- 自分が理解したことを一所懸命に集中して仕事をしてくれる
- 風邪で休まない人がほとんど
- 手順通り仕事をしてくれるのでケガに至らない(特に重度の人)

苦手なところ

- 臨機応変に作業をすること(切替)
- 自分のこと(状態)を正確に言葉で伝える
- 字の読み書きや計算

今後の目指すところ

『安定した、強い経営ができてこそ！』

※自分たちの使命に気づく(カンブリア宮殿)

企業の目的意義：全社員の物心両面の働く幸せの実現

kitpas[®]

今後の目指すところ

kitpas®



『キットパスですべての世代に樂がき文化を！！』





今後の目指すところ

『皆働社会の実現』

五方一両得(本人、企業、国、家族、福祉の先生)

憲法13条 幸福追求に対する国民の権利

憲法27条 すべて国民は勤労の権利を有し、義務を負う(勤労の権利と義務)

本当の福祉とは？